

ありがとう Arigato

平成27年度 2年A組

長月 / 8

学級通信 51 号

ほめ言葉のシャワー

昨日の通信で紹介した、学級力アンケートを受けての9つのアクションプランですが、「時間」「感謝」「生活」の項目については、具体的な作戦を考えなくても、今少しずつ意識できるようになってきていることから、プランの実行は次回へ見送りました。けれど「認め合い」については、認め合う場がないとなかなか難しいことから、帰りのSTで日直だった人が「今日1日で良いことをしたり頑張ったりしていた人をほめよう」というプランを実行することになりました。早速昨日の日直だった戸田君が良い見本を示してくれたので何となくどういふことかはわかったと思います。

小学校などでは帰りの会で良いことをした人をほめ合う「ほめ言葉のシャワー」という取り組みがあるとよく聞きます。同じことを中学生のみんながやってみてどうだろうか、という疑問がないわけではありません。無理矢理ほめるところを見つけて強制的にほめられてもうれしくない、と思う人がいるかもしれないことは、先生もわかっているつもりです。

それでも、やってみようと思います。それは、この取り組みはほめられる側にだけ焦点が当てられるのではなくて、ほめる方もいろんな人のいろんな行動を見て、その行動が良いのか、そうではないのかということ判断する練習になるからです。それまであまり目にとめなかったクラスの人たちに関心をもち、知ることのきっかけにもなります。2年生も2学期になり、もっとクラスの輪が強くなってほしいなと思ったので、今回のプランを採用することにしました。

なので、日直になった人は1日かけて本当によくみんなのことを観察してください。社会の授業がないときは朝と昼と帰りしかみんなを見ることのできない先生でも、給食や掃除の時に、良いことをしている人をたくさん見つけることができます。頑張っている人なら、部活や学習の面から本当にたくさんいると思います。普段近くにいる仲良しの友だちも大事だけれど、あまり関わらない人の良いところや頑張っているところをぜひ見つけてあげてください。そうするときっと「強制的にほめられた」という意識は減って、みんなの手前ちょっと恥ずかしいけれど、気持ちは良くなると思います。

最初の数回はうまくいかないかもしれませんが、雰囲気良くなっていけばいいと思います。言う方も聞く方もちょっと前向きな気持ちで取り組めるといいですね。



良いことをしよう、努力をしようと思うことで、態度が変わり身につく力も変わります。